

土木・環境工学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

土木・環境工学系では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理工系を中心とした幅広い基礎学力を有していること
- ・自ら新しい知識や技術を学ぶこと、および未知の課題の解決に積極的に挑戦する意欲を有していること
- ・土木・環境工学の知見を活かして、国内外の社会・経済活動の発展や人間生活環境の向上に貢献する意欲を有していること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【総合型選抜】《環境・社会理工学院》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

（A：造形課題，B：筆記・面接，C：面接のいずれかの試験を選択）

A：造形課題

高校数学Ⅲ程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチおよび説明文を解答させ，建築・都市空間の創造力を評価します。

B：筆記・面接

国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して，問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価します。

C：面接

グローバル化する環境および社会的な問題に関する独自の見解について，面接による質疑応答を行い，論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価します。

※ 学士課程2年目の系所属の際に，環境・社会理工学院では，総合問題Aを受験し合格した者は建築学系に，総合問題Bを

受験し合格した者は土木・環境工学系に，総合問題Cを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属します。

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 土木・環境工学分野における技術者としての幅広い教養

数学、物理学、情報技術などの工学基礎、および人文科学や社会科学の内容を含む幅広い学識の修得。

B) 技術者倫理

土木技術が自然、人間、社会に及ぼす影響及び土木技術者が果たすべき社会的責務と判断能力に関わる素養の修得。

C) 土木工学の基礎的学理と応用能力

土木工学の主要分野における専門科目に関する基礎知識と基礎的課題の解決能力の修得。

D) 土木・環境工学のより高度な専門知識や技術

土木・環境工学におけるより高度な専門科目と応用問題を解決するための知識と技術の修得。

E) 土木・環境技術に要求されている課題や問題の発見とそれらを解決する能力

情報の収集と分析のための基礎技術の修得、および実験・演習やゼミなどを介した主体的な取り組みによる調査、分析、解決する能力の修得。

F) 公共空間計画・設計とエンジニアリングデザイン、およびマネジメントの基礎能力

土木・環境工学が総合的な学問であるという理解を踏まえたプロジェクト型演習などによる、公共空間計画・設計、エンジニアリングデザインおよびマネジメントの基礎能力の修得。

G) 高度技術者としての素養

実験・演習を介した、自己学習能力、課題の計画的遂行能力、グループ作業を通じた協調性、およびリーダーシップなど高度技術者としての素養の修得。

H) コミュニケーション能力

日本語による論理的な記述、討議、発表に関するコミュニケーション能力、ならびに、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力の修得。

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

土木環境工学系では、次のような能力を修得することを目指す。

- ・幅広い教養と技術者倫理
- ・土木・環境工学の専門的学理、知識、技術、およびそれらを活用した課題解決力
- ・公共空間計画・設計およびエンジニアリングデザインとマネジメントの素養
- ・プロジェクト遂行のための高度技術者としての素養
- ・論理的な記述、討議、発表のための日本語によるコミュニケーション能力と英語による基礎能力